

ねらい

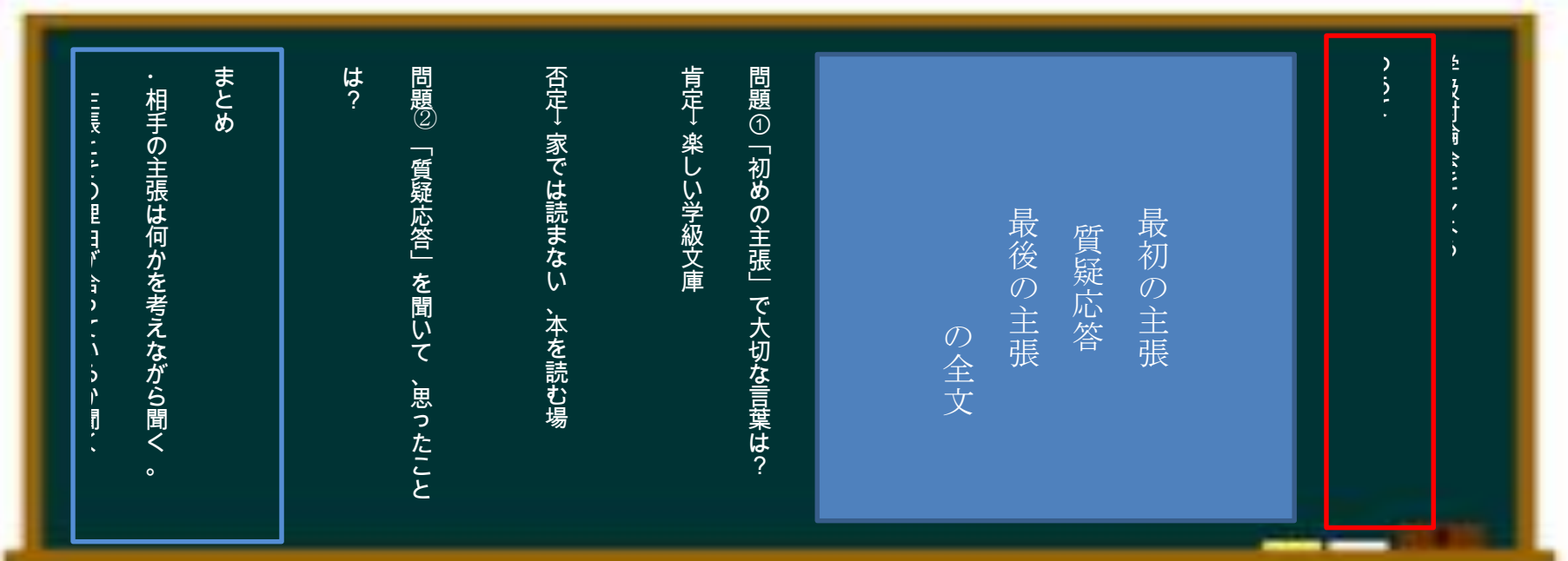
○討論会のCDを聞きながら、討論に参加しているつもりで聞き方の練習を行うことを通して、聞くときに大切なことや気を付けたいことを理解することができる。

身に付けさせたいこと

○それぞれの主張のキーワードを正しく聞き取る。
○主張と理由が合っているか考えながら聞き取る。
○討論での立場の違いを捉え、自分はどう思うか考えながら聞く。

表れてほしい児童の意識(姿)

○主張とその根拠、質問のCDを、主張のキーワードや疑問等のメモをとったり、意見に対して自分の考えをもちながら聞いたりしている。
○CDの主張の聞き取りを通して、討論を聞くときに大切な観点を理解している。



授業の流れ

○主な発問 ☆指導内容 ・予想される児童の反応 □評価

1 学習課題を把握する 5分

○前時はどんなことを学習しましたか。
・討論会の進め方。
・意見の上手な述べ方。
○討論会には他にどんな役割がありますか。
【めあて】
討論を「聞くとき」に大切なポイントは何か。

☆前時の学習や他の役割について振り返ることで、本時の「聞くこと」に関するめあてを児童自身ももてるようにする。

☆討論を通して、適切な主張や質問、判断を行うことができるようにするために、「主張」だけでなく「聞くこと」も重視することを伝える。

2 個別に課題を追究する 15分 (CD12分)

『問題』
①「初めの主張」部分で、大切な言葉や部分は何でしょう。
②「質疑応答」部分を聞いて、相手の答えに対して納得できることやできないこと、さらに質問したいことは何ですか。
③「最後の主張」を聞いて、二つの立場の「学級文庫」の見方はそれぞれ何だと思いませんか。
※討論CDについて
「学級文庫に漫画を置いてもよいか
一連の流れのCDを場面で区切り、本時の内容と関わる場面を流す。

☆聞く活動の曖昧さを取り除くために、聞いているかどうか、その都度確認したり、聞いたことを文章に書いたり、話したりする活動を取り入れる。

☆児童の思考を整理し、意見を持ちやすくするために、メモをとる場合マーク等を用いることを指導する。

☆メモをとることが苦手な児童には、聞き取りのポイントを示したワークシートを用意する。

3 考えを発表し、全体で比較・検討する 20分

①「初めの主張」部分で、大切な言葉や部分は何でしょう。
・楽しい学級文庫（肯定派）
・家では読まない、学習に役立つ本を読む場（否定派）
②「質疑応答」部分を聞いて、相手の答えに対して納得できることやできないこと、さらに質問したいことは何ですか。
・（肯定派へ）「漫画をきっかけにして」という意見がありましたが、漫画から字が多い本を読むようになるのは難しいと思い、納得できません。
・（否定派へ）普段あまり読まない字の多い本を読む機会を増やした方がよいという意見でしたが、難しい字の本だけ置くと、読む機会がむしろ減ってしまうのではないか。
③「最後の主張」を聞いて、二つの立場の「学級文庫」の見方はそれぞれ何だと思いませんか。
・学級文庫をどういうものにしたいか、というところで考えが違う。
・学級文庫を楽しくしたいか、役立つ本を読む場にしたいか。

☆ ①～③で二つの立場の違いを捉えたり、主張と根拠は説得力があるか聞いたりすることにより、どちらの立場に賛成か、意見をもたせることで、単純な好き嫌いによる判断を防ぐことができるようにする。

□【話聞】CDの主張の聞き取りを通して、討論を聞くときに大切なことを理解している。（発言、ノート）

4 学習のまとめをし、振り返りをする 5分

○それぞれの場面を聞く上で大切なことは何か、まとめましょう。
【まとめ】
・相手の主張は何かを考えながら聞く。
・主張とその理由が合っているか聞く。
・両者の立場の違いは何かを考えながら聞く。
・根拠に説得力があるか聞く。 等

○今日の学習でわかったこと、これからがんばりたいことは何ですか。

☆挙げた考えを確認しながら、児童の言葉を生かしてまとめを行うことで、本時には何を学習したのか、児童が学習したことを整理できるようにする。

☆次回から始まる討論への意欲を高めるために、本時の学習を終えた感想や次時で生かしたいことなどをノートに記述させる。